

年度 19 回数 3 問題 31

赤血球の新生因子において不可欠ではないものはどれか。

1. エリスロポイエチン
2. ビタミン B12
3. ビリルビン
4. 鉄

年度 19 回数 3 問題 32

心周期において動脈弁が開いている時を何というか。

1. 等容性収縮期
2. 駆出期
3. 等容性弛緩期
4. 充満期

年度 19 回数 3 問題 33

肺気量のうち肺活量を計算するのに必要ではないものはどれか。

1. 1 回換気量
2. 予備吸気量
3. 予備呼気量
4. 残気量

年度 19 回数 3 問題 34

消化吸収において消化酵素をもたないものはどれか。

1. 唾液
2. 胃液
3. 膵液
4. 胆汁

年度 19 回数 3 問題 35

ビタミン A の不足により起こる欠乏症状はどれか。

1. 皮膚炎
2. 脚気
3. 夜盲症
4. くる病

年度 19 回数 3 問題 36

排泄において 100% 近く再吸収されるものはどれか。

1. Na⁺
2. K⁺
3. グルコース
4. HCO₃⁻

年度 19 回数 3 問題 37

血糖値を上昇させるホルモンではないのはどれか。

1. パラソルモン
2. 成長ホルモン
3. 甲状腺ホルモン
4. 糖質コルチコイド

年度 19 回数 3 問題 38

分娩時に子宮の収縮に関与するホルモンはどれか。

1. プロジェステロン
2. オキシトシン
3. プロラクチン
4. エストロジェン

年度 19 回数 3 問題 39

体温調節中枢はどの中枢神経系の分類に存在するか。

1. 延髄
2. 中脳
3. 視床
4. 視床下部

年度 19 回数 3 問題 40

筋収縮において ATP を必要としないのはどれか。

1. 筋収縮過程での Ca⁺ の筋小胞体からの放出
2. 筋収縮過程でのミオシン頭部の運動
3. 筋弛緩過程での Ca⁺ の筋小胞体への回収
4. ミオシン頭部とアクチンとの結合の分離

年度 19 回数 3 問題 41

伸張反射に最も関与する受容器どれか。

1. 筋紡錘
2. Ia 群
3. 腱受容器
4. バチニ小体

年度 19 回数 3 問題 42

錐体路はどれか。

1. 皮質網様体路
2. 皮質脊髓路
3. 皮質赤核路
4. 後索路

年度 19 回数 3 問題 43

触・圧覚において触点の密度が高い所はどれか。

1. 背中
2. 腕
3. 指先
4. 腹

年度 19 回数 3 問題 44

視力において色を識別する細胞はどれか。

1. 杆体細胞
2. 有毛細胞
3. アマクリン細胞
4. 錐体細胞

年度 20 回数 3 問題 31

DNA の構造について誤っているのはどれか。

1. アデニン、グアニン、ウラシル、シトシンで構成されている。
2. 二重らせん構造で形成している。
3. リン酸と糖と塩基からなる化合物である。
4. 染色質の形で核内に存在している。

年度 20 回数 3 問題 32

赤血球新生に必要なではないのはどれか。

1. エリスロポイエチン
2. 抗貧血ビタミン
3. アンギオテンシン
4. 鉄

年度 20 回数 3 問題 33

心電図の波形である QRS 波は何の意味をもっていますか。

1. 心房の興奮
2. 心室の興奮開始
3. 心室の興奮消失
4. 大動脈の拍動

年度 20 回数 3 問題 34

肺活量の総和において必要ではないのはどれか。

1. 1 回換気量
2. 予備吸気量
3. 予備呼気量
4. 残気量

年度 20 回数 3 問題 35

胃腺と分泌物の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 主細胞 - ペプシノゲン
2. 内分泌細胞 - セクレチン
3. 壁細胞 - 塩酸
4. 粘液細胞 - ムチン

年度 20 回数 3 問題 36

熱産生ではないものはどれか。

1. 基礎代謝量
2. 食事誘発性産熱反応
3. 甲状腺ホルモン
4. 発汗

年度 20 回数 3 問題 37

排泄について、有効ろ過量をあらわすのに関係のないものはどれか。

1. 糸球体血圧
2. 血漿の膠質浸透圧
3. 尿細管内圧
4. ボーマン嚢内圧

年度 20 回数 3 問題 38

ホルモンとの組み合わせにおいて正しいのはどれか。

1. インスリン - 血糖値を上げる
2. パラソルモン - 骨の Ca をイオンとして血中に遊離させる
3. 卵胞ホルモン - 体温上昇作用
4. 糖質コルチコイド - 腎臓よりナトリウムイオンの再吸収増大

年度 20 回数 3 問題 39

第IX脳神経はどれか。

1. 滑車神経
2. 外転神経
3. 舌咽神経
4. 副神経

年度 20 回数 3 問題 40

視床下部にない中枢はどれか。

1. 体温調節中枢
2. 下垂体ホルモンの調節中枢
3. 本能行動の中枢
4. 心臓血管中枢

年度 20 回数 3 問題 41

筋の微細構造において誤っているのはどれか。

1. 縞模様の明るく見える部分を I 帯という。
2. 縞模様の暗く見える部分を A 帯という。
3. Z 帯と Z 帯の間を H 帯という。
4. 突起をもつフィラメントをミオシンフィラメントという。

年度 20 回数 3 問題 42

単シナプス反射はどれか。

1. 屈曲反射
2. 伸張反射
3. 交叉性伸展反射
4. 自原抑制

年度 20 回数 3 問題 43

皮膚感覚において平均分布密度が高いものはどれか。

1. 触点
2. 温点
3. 冷点
4. 痛点

年度 20 回数 3 問題 44

視覚において色彩を受け取る細胞はどれか。

1. 錐体細胞
2. 杆体細胞
3. 水平細胞
4. アマクリン細胞

年度 20 回数 5 問題 31

DNA の塩基において誤っているのはどれか。

1. アデニン
2. グアニン
3. ウラシル
4. シトシン

年度 20 回数 5 問題 32

赤血球の新生において最も必要と考えにくいのはどれか。

1. 抗貧血ビタミン
2. 鉄
3. エリスロポイエチン
4. マグネシウム

年度 20 回数 5 問題 33

膠質浸透圧の維持に大きく関与しているものはどれか。

1. アルブミン
2. $\alpha \cdot \gamma$ グロブリン
3. β グロブリン
4. フィブリノゲン

年度 20 回数 5 問題 34

安静吸息時に収縮する筋の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 外肋間筋と内肋間筋
2. 内肋間筋と横隔膜
3. 外肋間筋と横隔膜
4. 横隔膜と腹壁筋

年度 20 回数 5 問題 35

腸液において脂肪を脂肪酸とモノグリセリドに分解するのはどれか。

1. アミノペプチターゼ
2. マルターゼ
3. リパーゼ
4. スクレアーゼ

年度 20 回数 5 問題 36

体温調節において中枢はどこにあるか。

1. 延髄
2. 視床
3. 中脳
4. 視床下部

年度 20 回数 5 問題 37

有効ろ過圧を導くのに必要ではない圧はどれか。

1. 近位尿細管内圧
2. 糸球体血圧
3. ボーマン嚢内圧
4. 血漿の膠質浸透圧

年度 20 回数 5 問題 38

黄体ホルモンの作用ではないのはどれか。

1. 妊娠維持作用
2. 性欲亢進
3. 排卵抑制
4. 体温上昇

年度 20 回数 5 問題 39

頭部副交感神経が経由する脳神経はどれか。

1. 第Ⅲ脳神経
2. 三叉神経
3. 舌下神経
4. 第Ⅷ脳神経

年度 20 回数 5 問題 40

脳とその機能において正しいものはどれか。

1. 延髄 — 血糖調節
2. 中脳 — 情動行動
3. 視床 — 特殊投射系
4. 視床下部 — 飲水行動

年度 20 回数 5 問題 41

筋収縮において最も必要ではないのはどれか。

1. ATP
2. カルシウムイオン
3. α 運動ニューロン
4. ノルアドレナリン

年度 20 回数 5 問題 42

膝蓋腱を叩くことにより起こらない反射はどれか。

1. 伸張反射
2. 自原抑制
3. 拮抗抑制
4. 交叉性伸展反射

年度 20 回数 5 問題 43

皮膚感覚において振動に反応する受容器はどれか。

1. マイスネル小体
2. パチニ小体
3. ルフィニ終末
4. メルケル盤

年度 20 回数 5 問題 44

視覚において各名称と機能の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 虹彩 — 光量の調節
2. 中脳 — 対光反射
3. 水晶体 — 光の屈折
4. 錐体細胞 — 明暗の識別

年度 20 回数 6 問題 31

細胞内において組み合わせで誤っているのはどれか。

1. ミトコンドリア — ATP の合成・供給
2. 滑面小胞体 — タンパク質合成
3. ゴルジ装置 — タンパク質の濃縮と排泄
4. 中心体 — 細胞分裂に関与

年度 20 回数 6 問題 32

血液型について、凝集原を持たないのはどれか。

1. A 型
2. B 型
3. AB 型
4. O 型

年度 20 回数 6 問題 33

心臓における刺激伝導系で洞房結節以後の正しい伝え方はどれか。

1. 房室結節—プルキンエ線維—左脚・右脚—ヒス束
2. ヒス束—プルキンエ線維—房室結節—左脚・右脚
3. 房室結節—ヒス束—左脚・右脚—プルキンエ線維
4. プルキンエ線維—房室結節—左脚・右脚—ヒス束

年度 20 回数 6 問題 34

循環の調節において最も関与しないホルモンはどれか。

1. カテコールアミン
2. バゾプレッシン
3. アルドステロン
4. アンドロゲン

年度 20 回数 6 問題 35

呼吸中枢はどこに存在するか

1. 延髄
2. 橋
3. 中脳
4. 視床下部

年度 20 回数 6 問題 36

唾液の成分と作用において誤っているのはどれか

1. ムチンが食塊を滑らかにする
2. 抗菌作用
3. 口腔内を湿った状態にする
4. 食塊を噛み砕く

年度 20 回数 6 問題 37

糖の消化酵素ではないのはどれか。

1. アミラーゼ
2. トリプシン
3. スクラーゼ
4. ラクターゼ

年度 20 回数 6 問題 38

蓄尿時において誤っているのはどれか

1. 陰部神経興奮
2. 下腹神経興奮
3. 骨盤神経興奮
4. 腰仙髄の排尿中枢興奮

年度 20 回数 6 問題 39

分娩時において子宮収縮に関与するホルモンはどれか

1. オキシトシン
2. プロラクチン
3. プロゲステロン
4. エストロゲン

年度 20 回数 6 問題 40

脊髄神経は全部で何対あるか答えよ

1. 29
2. 30
3. 31
4. 32

年度 20 回数 6 問題 41

視床の特殊投射系において正しいのはどれか

1. 体性感覚－中間膝状体
2. 運動感覚－外側膝状体
3. 聴覚－内側膝状体
4. 視覚－腹側基底核群

年度 20 回数 6 問題 42

大脳の機能局在において味覚野はどこか

1. 前頭葉
2. 頭頂葉
3. 側頭葉
4. 後頭葉

年度 20 回数 6 問題 43

膝蓋腱反射の機序に関与しないのはどれか

1. 伸張反射
2. 拮抗抑制
3. 自原抑制
4. 屈曲反射

年度 20 回数 6 問題 44

視覚において誤った組み合わせはどれか

1. 錐体細胞－色
2. 水晶体－光の屈折
3. 角膜－光量の調節
4. 中心窩－最も視力の良い場所

年度 20 回数 8 問題 31

1日の水分の出納バランスについて誤っているのはどれか。

1. 摂取量の多くは飲料水と食品中の水分となる。
2. 排泄の中で尿が最も多い。
3. 排泄には皮膚からの蒸発も含まれる。
4. 摂取量と排泄量では摂取量の方が上回る。

年度 20 回数 8 問題 32

血液凝固に関与しないものはどれか。

1. トロンビン
2. プラスミン
3. カルシウムイオン
4. フィブリン

年度 20 回数 8 問題 33

最も血管の壁が厚いのはどれか。

1. 大動脈
2. 細動脈
3. 毛細血管
4. 大静脈

年度 20 回数 8 問題 34

全肺気量とは肺活量に何を加えたものか。

1. 1回換気量
2. 予備吸気量
3. 予備呼気量
4. 残気量

年度 20 回数 8 問題 35

大腸の特徴的運動はどれか。

1. 分節運動
2. 振子運動
3. 大蠕動
4. 蠕動運動

年度 20 回数 8 問題 36

体温調節中枢があるのはどれか。

1. 脊髄
2. 視床下部
3. 小脳
4. 中脳

年度 20 回数 8 問題 37

腎臓において再吸収される物質はどれか。

1. アンモニア
2. クレアチニン
3. 重炭酸イオン
4. 水素イオン

年度 20 回数 8 問題 38

ホルモンと作用の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. カルシトニン — 血中カルシウムイオン濃度低下
2. グルカゴン — 血糖値低下
3. オキシトシン — 射乳の誘発
4. エストロジェン — 妊娠の維持

年度 20 回数 8 問題 39

最も伝導速度の速い神経線維はどれか。

1. A γ 線維
2. B 線維
3. A β 線維
4. A α 線維

年度 20 回数 8 問題 40

大脳の機能局在において正しいのはどれか。

1. 前頭葉 — 体性感覚野
2. 頭頂葉 — 味覚野
3. 側頭葉 — 視覚野
4. 後頭葉 — 聴覚野

年度 20 回数 8 問題 41

頭部副交感神経で脳神経を經由しないのはどれか。

1. 外転神経
2. 顔面神経
3. 舌咽神経
4. 迷走神経

年度 20 回数 8 問題 42

姿勢反射に属す反射はどれか。

1. 前庭動眼反射
2. 立ち直り反射
3. 交叉性伸展反射
4. 長脊髓反射

年度 20 回数 8 問題 43

皮膚感覚において最も多い分布密度はどれか。

1. 触点
2. 温点
3. 冷点
4. 痛点

年度 20 回数 8 問題 44

視覚において最も視力の良いところはどこか。

1. 毛様体小帯
2. 瞳孔
3. 角膜
4. 中心窩

年度 20 回数 10 問題 31

物質の移動において水の分子が溶質濃度の高い方へ移動するのはどれか。

1. 拡散
2. 浸透
3. 能動輸送
4. 膜動輸送

年度 20 回数 10 問題 32

血漿タンパクのうち、膠質浸透圧に最も関与するのはどれか。

1. アルブミン
2. α ・ β グロブリン
3. γ グロブリン
4. フィブリノゲン

年度 20 回数 10 問題 33

間質液と血液との間でガス・物質交換が行われるのはどこか。

1. 心臓
2. 動脈
3. 毛細血管
4. 静脈

年度 20 回数 10 問題 34

消化酵素を含まないのはどれか。

1. 胃液
2. 膵液
3. 腸液
4. 胆汁

年度 20 回数 10 問題 35

吸息に関わる筋はどれか。

1. 内肋間筋
2. 肋横筋
3. 外腹斜筋
4. 横隔膜

年度 20 回数 10 問題 36

体温において放熱ではないのはどれか。

1. 発汗
2. 筋緊張
3. 皮膚血管拡張
4. 脱衣

年度 20 回数 10 問題 37

ホルモンとその分泌器官において正しいのはどれか。

1. 下垂体前葉 — プロラクチン
2. 甲状腺 — パラソルモン
3. 副腎髄質 — 電解質コルチコイド
4. 肝臓 — レニン

年度 20 回数 10 問題 38

尿の組成において最も占める割合が多いのはどれか。

1. 尿酸
2. 尿素
3. 水
4. アンモニア

年度 20 回数 10 問題 39

脊髄内の伝道路において上行路はどれか。

1. 皮質脊髄路
2. 脊髄小脳路
3. 前庭脊髄路
4. 網様体脊髄路

年度 20 回数 10 問題 40

交感神経活動に対する応答ではないのはどれか。

1. 汗腺分泌
2. 気管支筋弛緩
3. 縮瞳
4. 唾液腺分泌

年度 20 回数 10 問題 41

筋において心筋の特徴ではないのはどれか。

1. 横紋構造である
2. 自律神経支配である
3. 強縮である
4. 絶対不応期が他の筋と比べ長い

年度 20 回数 10 問題 42

脳幹による運動調節において脳神経を遠心路としない反射はどれか。

1. 角膜反射
2. 咬筋反射
3. 咳反射
4. 横隔膜反射

年度 20 回数 10 問題 43

前庭器官ではないのはどれか。

1. 蝸牛管
2. 球形囊
3. 卵形囊
4. 半規管

年度 20 回数 10 問題 44

自然免疫に属さないのはどれか。

1. 好中球
2. マクロファージ
3. B 細胞
4. NK 細胞

年度 20 回数 11 問題 31

血液の主な働きでないのはどれか。

1. 物質の代謝
2. 内部環境の恒常性の維持
3. 身体の防御
4. 止血作用

年度 20 回数 11 問題 32

血管収縮に働かないのはどれか。

1. カテコールアミン
2. セロトニン
3. レニン・アンジオテンシン系
4. ヒスタミン

年度 20 回数 11 問題 33

健康成人の肺気量のうち、もっとも容量が多くなるものはどれか。

1. 1 回換気量
2. 残気量
3. 肺活量
4. 予備吸気量

年度 20 回数 11 問題 34

消化液において最も pH が低い値なのはどれか。

1. 胆汁
2. 胃液
3. 膵液
4. 腸液

年度 20 回数 11 問題 35

産熱時の反応でないのはどれか。

1. 筋緊張
2. 皮膚血管拡張
3. 食事誘発性産熱反応
4. サイロキシン

年度 20 回数 11 問題 36

尿の組成において最も多いのはどれか。

1. 尿素
2. 水
3. 尿酸
4. アンモニア

年度 20 回数 11 問題 37

エストロゲンとプロジェステロンに共通する作用はどれか。

1. 体温上昇作用
2. 女性の第二性徴の発現
3. 乳腺の発育
4. 卵胞の発育

年度 20 回数 11 問題 38

神経の伝導速度において最も遅いのはどれか。

1. A β 線維
2. A α 線維
3. A γ 線維
4. A δ 線維

年度 20 回数 11 問題 39

機能局在において視覚野はどこに存在するか。

1. 後頭葉
2. 頭頂葉
3. 側頭葉
4. 前頭葉

年度 20 回数 11 問題 40

自律神経において α 受容体が関与するのはどれか。

1. 心拍数増大
2. 脂肪分解促進
3. 気管支平滑筋の弛緩
4. 大部分の血管収縮

年度 20 回数 11 問題 41

骨格筋と心筋の共通点はどれか。

1. 支配神経
2. 絶対不応期の長さ
3. 筋線維の構造
4. 自動性

年度 20 回数 11 問題 42

膝蓋靭帯の叩打による反射に含まれないのはどれか。

1. 伸張反射
2. 自原抑制
3. 拮抗抑制
4. 交叉性伸展反射

年度 20 回数 11 問題 43

視覚において最も視力の良い所はどれか。

1. 中心窩
2. 角膜
3. 瞳孔
4. 虹彩

年度 20 回数 11 問題 44

抗体を産生するのはどれか。

1. 赤血球
2. 白血球
3. 血小板
4. 血管の内皮細胞

年度 20 回数 12 問題 31

解糖に必要な物質はどれか。

1. 脂肪酸
2. グルコース
3. グリセリン
4. アミノ酸

年度 20 回数 12 問題 32

赤血球の新生に不可欠ではない因子はどれか。

1. 抗貧血ビタミン
2. エリスロポイエチン
3. 鉄
4. カルシウム

年度 20 回数 12 問題 33

心電図において心室興奮消退をあらわす波はどれか。

1. T波
2. S波
3. R波
4. P波

年度 20 回数 12 問題 34

動脈中のガス分圧において正しいのはどれか。

1. 静脈に比べ、酸素分圧は高く二酸化炭素分圧も高い
2. 静脈に比べ、酸素分圧は低く二酸化炭素分圧が高い
3. 静脈に比べ、酸素分圧は高く二酸化炭素分圧が低い
4. 静脈に比べ、酸素分圧は低く二酸化炭素分圧も低い

年度 20 回数 12 問題 35

肝臓の働きにおいて誤っているのはどれか。

1. 物質代謝
2. 血液の生成
3. 解毒作用
4. 胆汁の生成

年度 20 回数 12 問題 36

蓄尿時において誤っている活動はどれか。

1. 腰仙髄の排尿中枢による調節
2. 外尿道括約筋収縮
3. 膀胱壁の収縮
4. 内尿道括約筋収縮

年度 20 回数 12 問題 37

内分泌において相反する作用をもつ組み合わせではないのはどれか。

1. 副甲状腺ホルモンとカルシトニン
2. インスリンとグルカゴン
3. アドレナリンとノルアドレナリン
4. アンドロゲンとプロジェステロン

年度 20 回数 12 問題 38

視床下部にある中枢はどれか。

1. 循環中枢
2. 体温調節中枢
3. 対光反射中枢
4. 排尿中枢

年度 20 回数 12 問題 39

脳幹に起始する副交感神経において経由する脳神経はどれか。

1. 滑車神経
2. 三叉神経
3. 舌咽神経
4. 内耳神経

年度 20 回数 12 問題 40

筋収縮において ATP を必要としない過程はどれか。

1. 筋収縮の過程でのカルシウムイオンの筋小胞体からの放出
2. 筋収縮の過程でのミオシン頭部の運動
3. ミオシン頭部とアクチンとの結合の分離
4. 筋弛緩の過程でのカルシウムイオンの筋小胞体への回収

年度 20 回数 12 問題 41

脳神経のうち、運動ニューロンが含まれない脳神経はどれか。

1. 顔面神経
2. 副神経
3. 視神経
4. 三叉神経

年度 20 回数 12 問題 42

骨格筋の運動において正しいのはどれか。

1. 屈筋を主動筋、伸筋を拮抗筋という
2. 筋紡錘の興奮は I b 群求心性神経によって伝えられる
3. 通常、筋が収縮し張力が発生するとは錘外筋線維をさす
4. 痛覚に関する受容はしない

年度 20 回数 12 問題 43

次の感覚のうち、求心性線維の最も太いのはどれか。

1. 触圧覚
2. 温覚
3. 冷覚
4. 痛覚

年度 20 回数 12 問題 44

自然免疫に属さないのはどれか。

1. NK細胞
2. 形質細胞
3. マクロファージ
4. 好中球

年度 20 回数 13 問題 31

DNA と RNA の塩基において違うものはどれか。

1. アデニン
2. グアニン
3. チミン
4. シトシン

年度 20 回数 13 問題 32

ヘモグロビンについて誤っている記述はどれか。

1. グルコースと鉄で構成
2. 酸素を運搬する
3. 二酸化炭素を運搬する
4. pH の緩衝作用がある

年度 20 回数 13 問題 33

心臓の刺激伝導系で歩調取り (ペースメーカー) として働くのはどれか。

1. ヒス束
2. プルキンエ線維
3. 右 脚
4. 洞房結節

年度 20 回数 13 問題 34

肺活量に含まれないのはどれか。

1. 1 回換気量
2. 予備呼気量
3. 予備吸気量
4. 残気量

年度 20 回数 13 問題 35

胃で消化された内容物を十二指腸で中和する物質はどれか。

1. 胆汁酸
2. トリプシン
3. 粘 液
4. 重炭酸ナトリウム

年度 20 回数 13 問題 36

産熱を起こさないのはどれか。

1. 食物摂取
2. 運動
3. 発汗
4. ふるえ

年度 20 回数 13 問題 37

腎臓に流入した血液がろ過される部位はどれか。

1. 集合管
2. 糸球体
3. 近位尿細管
4. 遠位尿細管

年度 20 回数 13 問題 38

乳汁産生を促進するホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. サイロキシン
3. インスリン
4. アンドロゲン

年度 20 回数 13 問題 39

シナプス伝達の特徴として誤っている記述はどれか。

1. 反復刺激後増強が起こる
2. シナプス遅延がある
3. 一方向に伝達される
4. 樹状突起から伝達物質が放出される

年度 20 回数 13 問題 40

大脳皮質の機能局在について正しい組合せはどれか。

1. 体性感覚野－ 中心後回
2. 運動野 － 側頭葉
3. 聴覚野 － 後頭葉
4. 視覚野 － 中心前回

年度 20 回数 13 問題 41

自律神経の二重支配を受けない器官はどれか。

1. 胃
2. 心 臓
3. 唾液腺
4. 汗 腺

年度 20 回数 13 問題 42

次の文で示す反射はどれか。

「足に痛みを加えると、同側の下肢を引っ込める。」

1. 伸張反射
2. 交叉性伸展反射
3. 屈曲反射
4. 拮抗抑制

年度 20 回数 13 問題 43

二点弁別閾の最も小さい部位はどれか。

1. 指 先
2. 上 腕
3. 背 中
4. 下 腿

年度 20 回数 13 問題 44

視覚について正しい組合せはどれか。

1. 遠近調節 － 毛様体筋
2. 明るさ調節 － 硝子体
3. 色の感覚 － 虹 彩
4. 暗順応 － 外眼筋

年度 20 回数 14 問題 31

物質の移動に際して圧力を必要とするのはどれか

1. 浸透
2. 拡散
3. 開口放出
4. ろ過

年度 20 回数 14 問題 32

リンパ球の中でB細胞の関係がないのはどれか。

1. 細胞性免疫
2. 抗体産生
3. 形質細胞への分化
4. 抗原への特異的反応

年度 20 回数 14 問題 33

血漿に最も多く含まれる蛋白質はどれか。

1. フィブリノーゲン
2. アルファグロブリン
3. ガンマグロブリン
4. アルブミン

年度 20 回数 14 問題 34

血圧を下げる要因はどれか。

1. 血液量の増加
2. 血管断面積の減少
3. 血管平滑筋の弛緩
4. 血液粘度の上昇

年度 20 回数 14 問題 35

安静吸息時に起こる現象はどれか。

1. 外肋間筋の収縮
2. 腹筋の収縮
3. 胸郭の縮小
4. 横隔膜の弛緩

年度 20 回数 14 問題 36

胃液の特徴で誤っている記述はどれか。

1. 無色透明である
2. 塩酸を含む
3. ムチンを含む
4. pH は6である

年度 20 回数 14 問題 37

健康成人において腎臓の糸球体でろ過されないのはどれか

1. ブドウ糖
2. アミノ酸
3. クレアチニン
4. 蛋白質

年度 20 回数 14 問題 38

下垂体前葉ホルモンはどれか。

1. バゾプレッシン
2. オキシトシン
3. プロラクチン
4. テストステロン

年度 20 回数 14 問題 39

無髄神経の伝導様式について誤っているのはどれか。

1. 絶縁伝導
2. 跳躍伝導
3. 不減衰伝導
4. 両側性伝導

年度 20 回数 14 問題 40

レム睡眠について誤っている記述はどれか。

1. 眼球が急速に動く
2. 脳波が徐波になる
3. 自律神経機能が乱れる
4. 逆説睡眠とも呼ばれる

年度 20 回数 14 問題 41

緊急事態に対応するとき起こる反応で誤っているのはどれか。

1. 瞳孔縮小
2. 呼吸促進
3. 血圧上昇
4. 骨格筋血流増加

年度 20 回数 14 問題 42

正常な心筋について誤っているのはどれか。

1. 横紋構造をもつ
2. 機能的合胞体をなす
3. 強縮を起こす
4. 不随意筋である

年度 20 回数 14 問題 43

腱受容器の伸展を伝える神経線維はどれに属するか。

1. I a
2. I b
3. II
4. III

年度 20 回数 14 問題 44

聴覚の受容に関与する細胞はどれか。

1. 錐体細胞
2. 水平細胞
3. 有毛細胞
4. 双極細胞

年度 20 回数 15 問題 31

血液凝固に関与する血漿蛋白はどれか。

1. ヘパリン
2. フィブリノーゲン
3. アルブミン
4. プラスミン

年度 20 回数 15 問題 32

血漿アルブミンと関連が最も深いのはどれか。

1. 血液凝固
2. 免疫反応
3. 膠質浸透圧
4. 二酸化炭素の運搬

年度 20 回数 15 問題 33

間質液と血液との間でガス交換が行われるのはどれか。

1. 毛細血管
2. 大動脈
3. 大静脈
4. 細静脈

年度 20 回数 15 問題 34

ヘーリング・ブロイエル反射(肺迷走神経反射)で正しいのはどれか。

1. 咳を起こす反射
2. あくびを誘発する反射
3. 吸息を抑制する反射
4. 呼息を抑制する反射

年度 20 回数 15 問題 35

肝臓の働きでないのはどれか。

1. 血液凝固因子の産生
2. 解毒作用
3. 血液の貯蔵
4. ホルモンの分泌

年度 20 回数 15 問題 36

寒冷環境において体温の維持に関与するのはどれか

1. 皮膚血管の収縮
2. 不感蒸散の増加
3. メラトニン分泌の増加
4. 交感神経活動の低下

年度 20 回数 15 問題 37

健康成人の尿細管再吸収が最も 100%に近い物質はどれか。

1. 水
2. アンモニア
3. グルコース
4. カリウムイオン

年度 20 回数 15 問題 38

下垂体から分泌されないホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. サイロキシン
3. バソプレッシン
4. オキシトシン

年度 20 回数 15 問題 39

有髄神経で誤っている記述はどれか

1. 全か無の法則に従う
2. ランビエの絞輪は絶縁性が高い
3. ミエリンがある
4. 無髄神経より興奮伝導が速い

年度 20 回数 15 問題 40

脳幹に中枢がないのはどれか。

1. 対光反射中枢
2. 排尿中枢
3. 呼吸中枢
4. 言語中枢

年度 20 回数 15 問題 41

交感神経活動に対する応答で誤っているのはどれか。

1. 縮腫
2. 心拍数増加
3. 血管収縮
4. 腸運動抑制

年度 20 回数 15 問題 42

多シナプス反射でないのはどれか

1. 屈曲反射
2. 引っかき反射
3. 伸張反射
4. 交叉性伸展反射

年度 20 回数 15 問題 43

皮膚の感覚点で最も密度の高いのはどれか。

1. 触圧点
2. 温点
3. 冷点
4. 痛点

年度 20 回数 15 問題 44

視床内側膝状体で中継される感覚はどれか

1. 皮膚感覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 味覚

年度 20 回数 16 問題 1

乳汁産生を促進するホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. サイロキシン
3. インスリン
4. アンドロゲン

年度 20 回数 16 問題 2

物質の移動に際して圧力を必要とするのはどれか

1. 浸透
2. 拡散
3. 開口放出
4. ろ過

年度 20 回数 16 問題 5

視床内側膝状体で中継される感覚はどれか

1. 皮膚感覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 味覚

年度 20 回数 16 問題 11

肺活量に含まれないのはどれか。

1. 1回換気量
2. 予備呼気量
3. 予備吸気量
4. 残気量

年度 20 回数 16 問題 16

多シナプス反射でないのはどれか

1. 屈曲反射
2. 引っかき反射
3. 伸張反射
4. 交叉性伸展反射

年度 20 回数 16 問題 42

皮膚の感覚点で最も密度の高いのはどれか。

1. 触圧点
2. 温点
3. 冷点
4. 痛点

年度 20 回数 16 問題 45

ヘーリング・ブロイエル反射(肺迷走神経反射)で正しいのはどれか。

1. 咳を起こす反射
2. あくびを誘発する反射
3. 吸息を抑制する反射
4. 呼息を抑制する反射

年度 20 回数 16 問題 56

次の文で示す反射はどれか。

「足に痛みを加えると、同側の下肢を引っ込める。」

1. 伸張反射
2. 交叉性伸展反射
3. 屈曲反射
4. 拮抗抑制

年度 20 回数 16 問題 57

DNA と RNA の塩基において違うものはどれか。

1. アデニン
2. グアニン
3. チミン
4. シトシン

年度 20 回数 16 問題 58

有髄神経で誤っている記述はどれか

1. 全か無の法則に従う
2. ランビエの絞輪は絶縁性が高い
3. ミエリンがある
4. 無髄神経より興奮伝導が速い

年度 20 回数 16 問題 104

安静吸息時に起こる現象はどれか。

1. 外肋間筋の収縮
2. 腹筋の収縮
3. 胸郭の縮小
4. 横隔膜の弛緩

年度 20 回数 16 問題 108

血漿アルブミンと関連が最も深いのはどれか。

1. 血液凝固
2. 免疫反応
3. 膠質浸透圧
4. 二酸化炭素の運搬

年度 20 回数 16 問題 120

視覚について正しい組合せはどれか。

1. 遠近調節 - 毛様体筋
2. 明るさ調節 - 硝子体
3. 色の感覚 - 虹彩
4. 暗順応 - 外眼筋

年度 20 回数 16 問題 141

二点弁別閾の最も小さい部位はどれか。

1. 指先
2. 上腕
3. 背中
4. 下腿

年度 20 回数 16 問題 147

健康成人の尿管再吸収が最も 100%に近い物質はどれか。

1. 水
2. アンモニア
3. グルコース
4. カリウムイオン

年度 20 回数 16 問題 151

レム睡眠について誤っている記述はどれか。

1. 眼球が急速に動く
2. 脳波が徐波になる
3. 自律神経機能が乱れる
4. 逆説睡眠とも呼ばれる

年度 20 回数 16 問題 156

正常な心筋について誤っているのはどれか。

1. 横紋構造をもつ
2. 機能的合胞体をなす
3. 強縮を起こす
4. 不随意筋である

年度 20 回数 16 問題 167

聴覚の受容に関与する細胞はどれか。

1. 錐体細胞
2. 水平細胞
3. 有毛細胞
4. 双極細胞

年度 20 回数 16 問題 183

産熱を起こさないのはどれか。

1. 食物摂取
2. 運動
3. 発汗
4. ふるえ

年度 20 回数 16 問題 187

肝臓の働きでないのはどれか。

1. 血液凝固因子の産生
2. 解毒作用
3. 血液の貯蔵
4. ホルモンの分泌

年度 20 回数 16 問題 191

下垂体前葉ホルモンはどれか。

1. バゾプレッシン
2. オキシトシン
3. プロラクチン
4. テストステロン

年度 20 回数 16 問題 199

血漿に最も多く含まれる蛋白質はどれか。

1. フィブリノーゲン
2. アルファグロブリン
3. ガンマグロブリン
4. アルブミン

年度 20 回数 16 問題 202

脳幹に中枢がないのはどれか。

1. 対光反射中枢
2. 排尿中枢
3. 呼吸中枢
4. 言語中枢

年度 20 回数 16 問題 214

ヘモグロビンについて誤っている記述はどれか。

1. グルコースと鉄で構成
2. 酸素を運搬する
3. 二酸化炭素を運搬する
4. pHの緩衝作用がある

年度 20 回数 16 問題 217

寒冷環境において体温の維持に関与するのはどれか

1. 皮膚血管の収縮
2. 不感蒸散の増加
3. メラトニン分泌の増加
4. 交感神経活動の低下

年度 20 回数 16 問題 252

緊急事態に対応するとき起こる反応で誤っているのはどれか。

1. 瞳孔縮小
2. 呼吸促進
3. 血圧上昇
4. 骨格筋血流増加

年度 20 回数 16 問題 297

腎臓に流入した血液がろ過される部位はどれか。

1. 集合管
2. 糸球体
3. 近位尿細管
4. 遠位尿細管

年度 20 回数 16 問題 303

自律神経の二重支配を受けない器官はどれか。

1. 胃
2. 心臓
3. 唾液腺
4. 汗腺

年度 20 回数 16 問題 310

シナプス伝達の特徴として誤っている記述はどれか。

1. 反復刺激後増強が起こる
2. シナプス遅延がある
3. 一方向に伝達される
4. 樹状突起から伝達物質が放出される

年度 20 回数 16 問題 324

リンパ球の中でB細胞の関係がないのはどれか。

1. 細胞性免疫
2. 抗体産生
3. 形質細胞への分化
4. 抗原への特異的反応

年度 20 回数 16 問題 336

心臓の刺激伝導系で歩調取り(ペースメーカー)として働くのはどれか。

1. ヒス束
2. プルキンエ線維
3. 右脚
4. 洞房結節

年度 20 回数 16 問題 347

血圧を下げる要因はどれか。

1. 血液量の増加
2. 血管断面積の減少
3. 血管平滑筋の弛緩
4. 血液粘度の上昇

年度 20 回数 16 問題 350

胃で消化された内容物を十二指腸で中和する物質はどれか。

1. 胆汁酸
2. トリプシン
3. 粘液
4. 重炭酸ナトリウム

年度 20 回数 16 問題 354

血液凝固に関与する血漿蛋白はどれか。

1. ヘパリン
2. フィブリノーゲン
3. アルブミン
4. プラスミン

年度 20 回数 16 問題 376

胃液の特徴で誤っている記述はどれか。

1. 無色透明である
2. 塩酸を含む
3. ムチンを含む
4. pH は 6 である

年度 20 回数 16 問題 387

大脳皮質の機能局在について正しい組合せはどれか。

1. 体性感覚野 - 中心後回
2. 運動野 - 側頭葉
3. 聴覚野 - 後頭葉
4. 視覚野 - 中心前回

年度 20 回数 16 問題 398

間質液と血液との間でガス交換が行われるのはどれか。

1. 毛細血管
2. 大動脈
3. 大静脈
4. 細静脈

年度 20 回数 16 問題 402

健康成人において腎臓の糸球体でろ過されないのはどれか。

1. ブドウ糖
2. アミノ酸
3. クレアチニン
4. 蛋白質

年度 20 回数 16 問題 438

交感神経活動に対する応答で誤っているのはどれか。

1. 縮瞳
2. 心拍数増加
3. 血管収縮
4. 腸運動抑制

年度 20 回数 16 問題 439

腱受容器の伸展を伝える神経線維はどれに属するか。

1. Ia
2. Ib
3. II
4. III

年度 20 回数 16 問題 440

無髄神経の伝導様式について誤っているのはどれか。

1. 絶縁伝導
2. 跳躍伝導
3. 不減衰伝導
4. 両側性伝導

年度 20 回数 16 問題 469

下垂体から分泌されないホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. サイロキシン
3. バソプレッシン
4. オキシトシン

年度 21 回数 3 問題 31

RNA を構成する塩基ではないのはどれか。

1. アデニン
2. グアニン
3. チミン
4. シトシン

年度 21 回数 3 問題 32

血液において凝固阻止に働くものはどれか。

1. フィブリノゲン
2. プラスミン
3. トロンピン
4. ヘパリン

年度 21 回数 3 問題 33

循環において収縮期血圧 120mmHg 拡張期血圧 90mmHg の時平均血圧はいくらか。

1. 95mmHg
2. 100mmHg
3. 105mmHg
4. 110mmHg

年度 21 回数 3 問題 34

肺の機能において肺活量の計算に該当しないのはどれか。

1. 一回換気量
2. 予備吸気量
3. 残気量
4. 予備呼気量

年度 21 回数 3 問題 35

消化酵素を含まないのはどれか。

1. 胃液
2. 膝液
3. 胆汁
4. 腸液

年度 21 回数 3 問題 36

成人男性の基礎代謝量は何キロカロリー／日か。

1. 1000
2. 1200
3. 1500
4. 1700

年度 21 回数 3 問題 37

健康成人において腎臓において 100%近く再吸収される物質はどれか。

1. 水
2. ブドウ糖
3. タンパク質
4. ヘモグロビン

年度 21 回数 3 問題 38

内分泌において血糖値を上昇させないものはどれか。

1. 成長ホルモン
2. 甲状腺ホルモン
3. グルカゴン
4. パラソルモン

年度 21 回数 3 問題 39

神経において伝導の特徴ではないのはどれか。

1. 絶縁性伝導
2. 不減衰伝導
3. 酸素不足や薬物の影響
4. 両方向性伝導

年度 21 回数 3 問題 40

自律神経支配において二重神経支配か拮抗支配ではないものはどれか。

1. 唾液腺
2. 汗腺
3. 心臓
4. 血管

年度 21 回数 3 問題 41

筋の微細構造において縞模様の明るく見える部分のことを何というか。

1. Z 帯
2. A 帯
3. I 帯
4. 筋節

年度 21 回数 3 問題 42

運動において単シナプス反射はどれか。

1. 伸張反射
2. 交叉性伸展反射
3. 下顎反射
4. 屈曲反射

年度 21 回数 3 問題 43

感覚において振動を感受する受容器はどれか。

1. ルフィニ終末
2. メルケル盤
3. パチニ小体
4. マイスネル小体

年度 21 回数 3 問題 44

聴覚および平衡感覚の感覚受容器名はどれか。

1. 蝸牛管
2. 平衡砂
3. 有毛細胞
4. 耳小骨

年度 21 回数 5 問題 31

DNAについて誤っているのはどれか

1. リン酸と糖と塩基からなる
2. 二重らせん構造である
3. ウラシルは塩基の1つである
4. 高分子化合物である

年度 21 回数 5 問題 32

血液の二酸化炭素運搬について関係ないのはどれか

1. 重炭酸イオン
2. 物理的溶解
3. ヘモグロビンと結合
4. グロブリン

年度 21 回数 5 問題 33

血漿タンパクのなかで最も多いのはどれか。

1. アルブミン
2. α -グロブリン
3. γ -グロブリン
4. フィブリノゲン

年度 21 回数 5 問題 34

心電図のP波があらわれる時はどれか。

1. 心房興奮消退
2. 心房興奮
3. 心室興奮消退
4. 心室興奮

年度 21 回数 5 問題 35

呼吸中枢が存在するところはどこか。

1. 中脳
2. 視床
3. 延髄
4. 視床下部

年度 21 回数 5 問題 36

誤っているのはどれか

1. 咀嚼には反射運動も含まれている
2. 嚥下中には無呼吸がみられる
3. 唾液は消化酵素を含まない
4. 唾液は味覚に参与する

年度 21 回数 5 問題 37

排尿時に活動が高まる神経はどれか。

1. 下腹神経
2. 骨盤神経
3. 陰部神経
4. 迷走神経

年度 21 回数 5 問題 38

ホルモンの構造でペプチドホルモンではないのはどれか。

1. 視床下部ホルモン
2. インスリン
3. 甲状腺ホルモン
4. オキシトシン

年度 21 回数 5 問題 39

脊髄内伝道路において上行路ではないのはどれか。

1. 皮質脊髄路
2. 脊髄小脳路
3. 後索路
4. 脊髄視床路

年度 21 回数 5 問題 40

交感神経にのみ支配されていないのはどれか。

1. 副腎髄質
2. 汗腺
3. 立毛筋
4. 唾液腺

年度 21 回数 5 問題 41

筋の特徴比較において誤っているのはどれか。

1. 心筋は最も絶対不応期が長い
2. 骨格筋は単収縮のみである
3. 平滑筋は自律神経支配である
4. 心筋は疲労しにくい

年度 21 回数 5 問題 42

反射において膝蓋靭帯を叩打することによって起こらない反射はどれか。

1. 伸張反射
2. 拮抗抑制
3. 自原抑制
4. 屈曲反射

年度 21 回数 5 問題 43

2点弁別閾において最も触点の密度が高い部位はどれか。

1. 前腕
2. 大腿
3. 指先
4. 背部

年度 21 回数 5 問題 44

視覚において色彩をうけとる視細胞はどれか。

1. 色素細胞
2. アマクリン細胞
3. 錐体細胞
4. 杆体細胞

年度 21 回数 6 問題 31

物質の移動においてエネルギーを用いるのはどれか

1. 拡散
2. 浸透
3. 能動輸送
4. 膜動輸送

年度 21 回数 6 問題 32

血漿タンパクの説明で誤っているのはどれか

1. アルブミンの量が最も多い
2. α -グロブリンは免疫に関与する
3. 血液の酸塩基平衡に寄与する
4. ホルモンなどの運搬に関与する

年度 21 回数 6 問題 33

血圧について正しいものはどれか

1. 最高血圧のことを拡張期血圧という
2. 手首に指を当てて脈拍を触診する方法は最低血圧のみを測定
3. 最高血圧と最低血圧の圧差を平均血圧という
4. 動脈圧は心拍出量と総末梢抵抗の積で表される

年度 21 回数 6 問題 34

吸息時に収縮する筋はどれか

1. 横隔膜と外肋間筋
2. 外肋間筋と内肋間筋
3. 肋間筋と腹壁筋
4. 横隔膜と内肋間筋

年度 21 回数 6 問題 35

糖質の消化酵素はどれか

1. アミノペプチターゼ
2. リパーゼ
3. ヌクレアーゼ
4. アミラーゼ

年度 21 回数 6 問題 36

体温調節中枢が存在するのはどれか。

1. 視床
2. 視床下部
3. 延髄
4. 大脳基底核

年度 21 回数 6 問題 37

腎臓のレニン分泌により分泌亢進されるホルモンはどれか

1. サイロキシン
2. コルチコステロン
3. バゾプレッシン
4. アルドステロン

年度 21 回数 6 問題 38

血糖値に直接的に関与しないホルモンはどれか

1. インスリン
2. ソマトスタチン
3. アドレナリン
4. グルカゴン

年度 21 回数 6 問題 39

分類と役割の組み合わせで誤っているのはどれか

1. 小脳 - 運動の調節
2. 大脳基底核 - 運動の調節
3. 視床 - 運動の調節
4. 視床下部 - 運動の調節

年度 21 回数 6 問題 40

自律神経において β 受容体への刺激による応答はどれか

1. 心拍数の減少
2. 血管収縮
3. 胃腸管の括約筋の収縮
4. 心収縮力の増大

年度 21 回数 6 問題 41

筋の微細構造において暗帯の中央でやや明るくみえる部分をなんと
いうか

1. I 帯
2. H 帯
3. Z 帯
4. 筋節

年度 21 回数 6 問題 42

脊髄反射ではないのはどれか

1. 伸張反射
2. 屈曲反射
3. 交叉性伸展反射
4. 姿勢反射

年度 21 回数 6 問題 43

表在性痛覚に関して速い痛みに属さないのはどれか

1. ポリモーダル侵害受容器
2. A δ 線維
3. 刺激がなくなると急速に消失する
4. 機械的侵害刺激にのみ反応する

年度 21 回数 6 問題 44

視覚に関して、光量を調節するのはどれか

1. 網膜
2. 水晶体
3. 角膜
4. 虹彩

年度 21 回数 8 問題 31

体液において最も占める割合が多いのはどれか。

1. 細胞外液
2. 間質液
3. 血漿
4. 細胞内液

年度 21 回数 8 問題 32

血液において凝固阻止物質に該当するのはどれか。

1. ヘパリン
2. フィブリン
3. プラスミン
4. トロンビン

年度 21 回数 8 問題 33

循環において誤っているのはどれか。

1. 1回の心臓拍動によって左心室から出される血液量を1回拍出量という
2. 1分間の心臓の拍動数を心拍数という
3. 第1心音とは主に動脈弁の閉鎖によって生じる
4. 毛細血管は1層の内皮細胞で構成されている

年度 21 回数 8 問題 34

呼吸において、安静呼吸の後にさらに吐き出せる呼気量のことをなんというか。

1. 1回換気量
2. 予備吸気量
3. 予備呼気量
4. 残気量

年度 21 回数 8 問題 35

消化において腸液に含まれないものはどれか。

1. 重炭酸ナトリウム
2. トリプシン
3. リパーゼ
4. ラクターゼ

年度 21 回数 8 問題 36

排泄において正しいのはどれか。

1. 蓄尿時には陰部神経により内尿道括約筋を収縮させる
2. 排尿時には下腹神経の作用により外尿道括約筋が弛緩する
3. 蓄尿時には膀胱壁は収縮する
4. 排尿時には骨盤神経の活動が亢進する

年度 21 回数 8 問題 37

内分泌において受容体が細胞内にあるのはどれか。

1. オキシトシン
2. 甲状腺ホルモン
3. バゾプレッシン
4. アドレナリン

年度 21 回数 8 問題 38

最も伝導速度の速い神経線維はどれか。

1. A β 線維
2. B線維
3. A γ 線維
4. A δ 線維

年度 21 回数 8 問題 39

脳神経のうち三叉神経の関与しないのはどれか。

1. 顔面部の皮膚感覚
2. 咀嚼運動
3. 眼神経と上顎神経と下顎神経の3枝に分かれる
4. 味覚を伝える

年度 21 回数 8 問題 40

交感神経節後ニューロン細胞体に存在する受容体はどれか。

1. ニコチン受容体
2. ムスカリン受容体
3. α 受容体
4. β 受容体

年度 21 回数 8 問題 41

運動において姿勢反射ではないのはどれか。

1. 緊張性頸反射
2. 緊張性迷路反射
3. ひっかき反射
4. 立ち直り反射

年度 21 回数 8 問題 42

皮膚感覚において誤っているのはどれか。

1. 分布密度が最も高いものは痛点である
2. 無関温度と呼ばれる温度感覚が働かない温度がある
3. くすぐったい感覚とは触刺激の変形の一様である
4. 速い痛みを伝える神経線維はA β 線維である

年度 21 回数 8 問題 43

聴覚の特徴ではないのはどれか。

1. 中耳はツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨の耳小骨により振動を伝える
2. 水平細胞やアマクリン細胞により修飾をうける
3. 視床の内側膝状体を通じ聴覚野に投射する
4. 両耳で聞くことにより音源の方向や位置を聞き分けられる

年度 21 回数 8 問題 44

自然免疫はどれか。

1. T細胞
2. NK細胞
3. B細胞
4. 形質細胞

年度 21 回数 10 問題 31

体液の区分において体重あたり最も量の多いのはどれか。

1. 細胞内液
2. 間質液
3. 血漿
4. 細胞外液

年度 21 回数 10 問題 32

血液成分とその働きに関して誤っているものはどれか。

1. アルブミン - 血漿膠質浸透圧の維持
2. 赤血球 - 身体の防御
3. フィブリノゲン - 血液凝固作用
4. 血小板 - 止血作用

年度 21 回数 10 問題 33

心臓の特徴として誤っているものはどれか。

1. 心筋 - 機能的合胞体
2. 心音 - 第1心音は主に房室弁の閉鎖音
3. 心電図 - QRS群は心房興奮開始
4. 特殊心筋 - 興奮の発生と伝導に適した筋

年度 21 回数 10 問題 34

呼吸器系の特徴として誤っているのはどれか。

1. 吸息 — 横隔膜と外肋間筋
2. 肺活量 — 1 回換気量 + 予備吸気量 + 予備呼気量
3. ガス交換 — 肺胞気と肺毛細血管の静脈血間での分圧差
4. ガス運搬 — 二酸化炭素は主に赤血球にて運搬されている

年度 21 回数 10 問題 35

消化器系で誤っているものはどれか。

1. 胃の分解酵素は塩酸である。
2. 大腸のみの運動に大蠕動がある。
3. 胆汁は消化酵素を含まない。
4. 大腸液は消化酵素を含まない。

年度 21 回数 10 問題 36

次のうち、腎臓で最も再吸収されないのはどれか。

1. アミノ酸
2. ナトリウムイオン
3. 水素イオン
4. 重炭酸イオン

年度 21 回数 10 問題 37

内分泌に関して誤っているのはどれか。

1. カルシトニン — 血漿中カルシウムイオン濃度の低下
2. 副腎髄質 — 抗炎症・抗アレルギー作用
3. プロジェステロン — 体温上昇作用
4. オキシトシン — 射乳反射

年度 21 回数 10 問題 38

中枢神経系に関して誤っているのはどれか。

1. 延髄 — 唾液分泌中枢
2. 味覚野 — 側頭葉
3. 視床下部 — 体温調節中枢
4. レム睡眠 — 覚醒をおもわせる脳波

年度 21 回数 10 問題 39

伝導速度の速い情報はどれか。

1. 触圧刺激
2. 痛覚刺激
3. 自律調節
4. 骨格筋への命令

年度 21 回数 10 問題 40

副交感神経節後神経細胞体に存在する受容体はどれか。

1. ニコチン受容体
2. ムスカリン受容体
3. μ 受容体
4. β 受容体

年度 21 回数 10 問題 41

膝蓋腱反射に関与しない反射はどれか。

1. 伸張反射
2. 屈曲反射
3. 自原抑制
4. 拮抗抑制

年度 21 回数 10 問題 42

上行路において触圧・温度・痛覚刺激が利用する経路はどれか。

1. 脊髓視床路
2. 後索路
3. 脊髓網様体路
4. 脊髓小脳路

年度 21 回数 10 問題 43

視覚において誤っているのはどれか。

1. 瞳孔 — 光量の調節
2. 角膜 — 瞳孔の大きさの調節
3. 黄斑 — 視力のもっとも良い部分
4. 輻輳 — 両眼が対称的に内転

年度 21 回数 10 問題 44

自然免疫に属さないのはどれか。

1. 好中球
2. B 細胞
3. マクロファージ
4. NK 細胞

年度 21 回数 11 問題 31

血液凝固について誤っているのはどれか。

1. 不溶性の血液の塊ができる一連の現象をいう。
2. 血漿タンパクのフィブリノゲンが直接血球を捕捉して起こる。
3. 血液凝固因子が次々と活性化されて連鎖反的に起こる。
4. カルシウムイオンも血液凝固因子の一つと考えられる。

年度 21 回数 11 問題 32

循環のホルモン性調節のうち、一般に分泌が高まると血圧を下げる作用があるのはどれか。

1. カテコールアミン
2. バゾプレッシン
3. アルドステロン
4. 心房性ナトリウム利尿ペプチド

年度 21 回数 11 問題 33

呼吸の反射性調節について誤った記述はどれか。

1. 肺が吸息により伸展されると、その情報が迷走神経を介して呼吸中枢に伝えられ、吸息中枢を抑制する。
2. 末梢性化学受容器は頸動脈小体と大動脈小体にある。
3. 動脈血中の二酸化炭素分圧が減少すると呼吸運動が促進される。
4. 体温の上昇は一般に呼吸を促進させる。

年度 21 回数 11 問題 34

次の栄養素のうち、主に拡散によって吸収されるものはどれか。

1. グルコース
2. アミノ酸
3. 脂肪酸
4. ナトリウムイオン

年度 21 回数 11 問題 35

次のうち水溶性ビタミンはどれか。

1. ビタミン A
2. ビタミン C
3. ビタミン D
4. ビタミン E

年度 21 回数 11 問題 36

外気温がある程度以上に低下したときに、体温低下を防ぐために起こる反応で誤っているのはどれか。

1. 皮膚血管の収縮
2. サイロキシンの分泌促進
3. 骨格筋のふるえ
4. バゾプレッシンの分泌促進

年度 21 回数 11 問題 37

尿細管における再吸収と分泌について誤っている記述はどれか。

1. 水はカリウムイオンの再吸収に伴って受動的に再吸収される。
2. 集合管におけるナトリウムイオンの再吸収はアルドステロンによって促進される。
3. グルコースは通常近位尿細管で能動輸送によって 100%近く再吸収される。
4. アンモニアや尿素は尿細管腔中に分泌される。

年度 21 回数 11 問題 38

次のうち脂溶性のホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. オキシトシン
3. アルドステロン
4. バゾプレッシン

年度 21 回数 11 問題 39

興奮伝導の特徴について誤っているのはどれか。

1. 絶縁性伝導
2. 不減衰伝導
3. 一方向性伝導
4. 有髄線維に見られる跳躍伝導

年度 21 回数 11 問題 40

アドレナリン受容体のうち主に α 受容体が関与するのはどれか。

1. 心収縮力増大
2. 全身の血管収縮
3. 消化管壁の収縮
4. 気管支拡張

年度 21 回数 11 問題 41

脳波について正しいのはどれか。

1. α 波は睡眠時に最もよく現れる。
2. β 波は精神活動中や感覚刺激を受けたときなどに現れる。
3. θ 波は覚醒時に著明である。
4. δ 波は最も速い周波数成分である。

年度 21 回数 11 問題 42

興奮収縮連関に関連した記述のうち誤っているのはどれか。

1. 筋が弛緩した後に筋の活動電位が発生する現象のことである。
2. 筋細胞膜に発生した興奮は横行小管を介して細胞の内部に伝わる。
3. 細胞内部に伝わった興奮により筋小胞体からカルシウムイオンが放出される。
4. 筋細胞内に放出されたカルシウムイオンがアクチンフィラメントとミオシンフィラメントの結合を可能にする。

年度 21 回数 11 問題 43

交叉性伸展反射についてもっとも正しい記述はどれか。

1. 右上肢の屈曲反射が起こるときは、右下肢の伸展が起こる。
2. 屈曲反射を起こすような強い刺激が加えられたとき、刺激を受けた肢の屈曲の後に伸展が起こる。
3. 屈曲反射を起こすような強い刺激が加えられたとき、刺激を受けた反対側の肢の伸展が起こる。
4. 屈曲反射を起こすような刺激が上肢に加えられた場合、他方の上肢と下肢に伸展が起こる。

年度 21 回数 11 問題 44

聴覚器についての誤っている記述はどれか。

1. 耳小骨はテコの要素によって鼓膜の振動を減少させて前庭窓に伝える。
2. 鼓膜張筋の収縮は鼓膜の張力を増して振動を減少させる。
3. アブミ骨筋の収縮はアブミ骨底を前庭窓から引き離すように働く。
4. 前庭窓の振動は外リンパに伝わり、さらに前庭膜を介して内リンパに伝わる。

年度 21 回数 12 問題 31

DNA において構成する塩基でないのはどれか。

1. アデニン
2. グアニン
3. ウラシル
4. シトシン

年度 21 回数 12 問題 32

血漿タンパクにおいて膠質浸透圧の維持に最も関わるのはどれか。

1. アルブミン
2. α ・ β -グロブリン
3. γ -グロブリン
4. フィブリノゲン

年度 21 回数 12 問題 33

各器官への血液循環において心拍出量の割合が多いのはどれか。

1. 骨格筋
2. 肺
3. 心臓
4. 肝臓

年度 21 回数 12 問題 34

消化においてタンパク質の消化酵素ではないものはどれか。

1. ペプシン
2. トリプシン
3. アミノペプチダーゼ
4. アミラーゼ

年度 21 回数 12 問題 35

体温において熱を産生する作用はどれか。

1. 不感蒸散
2. 対流
3. 基礎代謝
4. 皮膚血管拡張

年度 21 回数 12 問題 36

分娩時において子宮収縮に最も関与するホルモンはどれか。

1. プロジェステロン
2. プロラクチン
3. オキシトシン
4. エストロジェン

年度 21 回数 12 問題 37

神経の伝導速度において最も遅いのはどれか。

1. $A\alpha$
2. $A\beta$
3. $A\gamma$
4. $A\delta$

年度 21 回数 12 問題 38

中枢神経系の各特性において誤っているのはどれか。

1. 延髄 — 体温調節中枢
2. 視床 — 特殊投射系
3. 中脳 — 対光反射中枢
4. 視床下部 — 本能行動の中枢

年度 21 回数 12 問題 39

副交感神経活動の応答ではないのはどれか。

1. 心拍数減少
2. 肝臓のグリコーゲン分解
3. 男性性器勃起
4. 唾液腺分泌

年度 21 回数 12 問題 40

伸張反射に直接関与しないのはどれか。

1. 腱受容器
2. Ia 群求心性線維
3. α 運動ニューロン
4. 錘外筋線維

年度 21 回数 12 問題 41

運動調節において脳幹反射ではないのはどれか。

1. 姿勢反射
2. 角膜反射
3. 横隔膜反射
4. 嚥下反射

年度 21 回数 12 問題 42

表在性痛覚の速い痛みの特徴ではないのはどれか。

1. 高閾値機械的受容器
2. $A\delta$ 線維
3. 局在明瞭
4. 持続的な痛み

年度 21 回数 12 問題 43

視覚において視力の最も良いところはどれか。

1. 視神経乳頭
2. 水晶体
3. 硝子体
4. 黄斑

年度 21 回数 12 問題 44

形質細胞から産生される物質はどれか。

1. インターフェロン
2. 抗体
3. 補体
4. インターロイキン

年度 21 回数 13 問題 31

血液のガス運搬において二酸化炭素の運搬で最も多くみられる存在様式はどれか。

1. 遊離二酸化炭素として溶解
2. 重炭酸イオンとして溶解
3. ヘモグロビンと結合
4. カルシウムイオンと結合

年度 21 回数 13 問題 32

静脈還流が促進される要因でないのはどれか。

1. 心房内圧の低下
2. 静脈弁
3. 骨格筋の収縮・弛緩
4. 呼息時の胸腔内圧の陰圧度の減少

年度 21 回数 13 問題 33

膵臓から分泌されないのはどれか。

1. リパーゼ
2. インスリン
3. セクレチン
4. ソマトスタチン

年度 21 回数 13 問題 34

意識的に排尿を抑えるのはどれか。

1. 骨盤神経の興奮
2. 内臓神経の抑制
3. 陰部神経の興奮
4. 下腹神経の興奮

年度 21 回数 13 問題 35

栄養素でエネルギー源とならないのはどれか。

1. ガラクトース
2. リボフラビン
3. アミノ酸
4. トリグリセリド

年度 21 回数 13 問題 36

尿量が減少する要因はどれか。

1. 糸球体血圧の増加
2. ボーマン嚢内圧の低下
3. 腎血漿流量の増加
4. 血漿の膠質浸透圧の増加

年度 21 回数 13 問題 37

コルチコステロイドに属さないものはどれか。

1. アンジオテンシン II
2. コルチゾル
3. アルドステロン
4. 副腎アンドロジェン

年度 21 回数 13 問題 38

妊娠中に分泌が抑制されるホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. プロジェステロン
3. 黄体形成ホルモン
4. オキシトシン

年度 21 回数 13 問題 39

活動電位発生時に脱分極を起こす主な要因となるイオンはどれか。

1. カルシウムイオン
2. カリウムイオン
3. ナトリウムイオン
4. マグネシウム

年度 21 回数 13 問題 40

自律神経とその神経終末から放出される神経伝達物質との組み合わせで誤っているのはどれか(ただし汗腺支配の交感神経は除く)。

1. 交感神経節前線維 - アドレナリン
2. 交感神経節後線維 - ノルアドレナリン
3. 副交感神経節前線維 - アセチルコリン
4. 副交感神経節後線維 - アセチルコリン

年度 21 回数 13 問題 41

伸張反射について誤っている組み合わせはどれか。

1. 受容器 - 筋紡錘
2. 求心性神経線維 - Ib 群神経線維
3. 中枢性シナプス - 単シナプス反射
4. 遠心性神経線維 - Aα 神経線維

年度 21 回数 13 問題 42

視床下部に調節中枢がないのはどれか。

1. 飲水行動
2. 体温
3. 概日リズム
4. 呼吸

年度 21 回数 13 問題 43

視覚情報の伝達に関与しないのはどれか。

1. アマクリン細胞
2. ミューラー細胞
3. 双極細胞
4. 水平細胞

年度 21 回数 13 問題 44

免疫応答について誤っている記述はどれか。

1. B 細胞は形質細胞に分化する
2. ヘルパーT 細胞はサイトカインを放出する
3. キラーT 細胞はウイルスを貪食する
4. NK 細胞はウイルス感染細胞を傷害する

年度 21 回数 14 問題 31

正常な体液について誤っているのはどれか。

1. pH は約 7.4 である。
2. 体液量は体重の約 60% である。
3. 細胞内液量は体重の約 15% である。
4. 体液の浸透圧は約 290mOsm/l である。

年度 21 回数 14 問題 32

心周期で左心室内圧が大動脈圧より高い時期はどれか。

1. 等容性収縮期
2. 駆出期
3. 等容性弛緩期
4. 充満期

年度 21 回数 14 問題 33

正常呼吸と深くてゆっくりな呼吸どちらにおいても変化しないのはどれか。

1. 一回換気量
2. 予備呼気量
3. 死腔量
4. 分時肺胞換気量

年度 21 回数 14 問題 34

健康成人の体内で合成されないのはどれか。

1. グルコース
2. アラニン
3. ナイアシン
4. コレステロール

年度 21 回数 14 問題 35

脂質について誤っているのはどれか。

1. 脂肪酸は主にクエン酸回路で酸化される。
2. コレステロールはサイロキシンの前駆物質である。
3. 脂質はタンパク質と結合した形で血液中を運搬される。
4. 中性脂肪は 1 分子のグリセリンと 3 分子の脂肪酸からなる。

年度 21 回数 14 問題 36

健康成人のクリアランス値がほぼ 0 となるのはどれか。

1. グルコース
2. クレアチニン
3. パラアミノ馬尿酸
4. 尿素

年度 21 回数 14 問題 37

細胞内でセカンドメッセンジャーを介して生理作用を発現するホルモンはどれか。

1. コルチゾル
2. 副腎アンドロジェン
3. アルドステロン
4. レニン

年度 21 回数 14 問題 38

体温の上昇による生体反応で誤っているのはどれか。

1. 皮膚血管の拡張
2. 発汗の増加
3. 血液の粘性の低下
4. 食欲不振

年度 21 回数 14 問題 39

大脳皮質の機能的領野と脳葉との組合せで誤っているのはどれか。

1. ウェルニッケ野 - 後頭葉
2. ブローカ野 - 前頭葉
3. 聴覚野 - 側頭葉
4. 味覚野 - 頭頂葉

年度 21 回数 14 問題 40

次のうち海馬の役割が重要であると考えられているのはどれか。

1. 睡眠
2. 空間の認知
3. 記憶
4. 姿勢の保持

年度 21 回数 14 問題 41

筋収縮の過程でエネルギーを必要としないのはどれか。

1. 筋収縮の過程でのミオシン頭部の運動
2. 筋小胞体の終末槽からカルシウムイオンの放出
3. 筋弛緩の過程でのカルシウムイオンの筋小胞体への回収
4. ミオシン頭部とアクチンとの結合の分離

年度 21 回数 14 問題 42

錘内筋線維を支配する遠心性線維はどれか。

1. $A\alpha$ 線維
2. $A\gamma$ 線維
3. $A\delta$ 線維
4. B 線維

年度 21 回数 14 問題 43

Ib 群求心性線維がかかわるのはどれか。

1. 自原抑制
2. 拮抗抑制
3. 屈曲反射
4. 交叉性伸展反射

年度 21 回数 14 問題 44

受容器と求心性線維との組み合わせで誤っているのはどれか。

1. ルフィニ終末 - II 群線維
2. パチニ小体 - $A\beta$ 線維
3. 自由神経終末 - I 群線維
4. 侵害受容器 - C 線維

年度 21 回数 15 問題 31

血液凝固の連鎖反応において、活性型第 X 因子が活性化させるものはどれか。

1. プロトロンビン
2. トロンビン
3. フィブリノゲン
4. フィブリン

年度 21 回数 15 問題 32

赤血球沈降速度について誤っているのはどれか。

1. 正常成人女子の正常 1 時間値は 15mm 以下である。
2. 赤血球の凝集度に左右される。
3. 赤血球増多症で高くなる。
4. 重症の貧血で高くなる。

年度 21 回数 15 問題 33

肺気量の分画で正しいのはどれか。

1. 残気量は安静呼吸の後に、肺内に残っている気体容量
2. 機能的残気量は予備吸気量と残気量の和
3. 肺活量は 1 回換気量と予備吸気量と予備呼気量の和
4. 全肺気量は肺活量と機能的残気量の和

年度 21 回数 15 問題 34

嚥下反射について誤っているものはどれか。

1. 舌を使って食塊を咽頭に送るのは随意的に行われる。
2. 軟口蓋の挙上は随意的に行われる。
3. 喉頭蓋の閉鎖は反射的に行われる。
4. 食道の蠕動運動は不随意に行われる。

年度 21 回数 15 問題 35

発熱時の生体反応で誤っているのはどれか。

1. 何らかの病的な原因でセットポイントが正常より高いレベルにずれたと考えられている。
2. 外気温に関係なく産熱機能が高まり、放熱機能を抑制する。
3. 悪寒が生じる。
4. 深部体温は変化しない

年度 21 回数 15 問題 36

血圧を上昇させる要因でないのはどれか。

1. 血液量の増大
2. 血管壁の弾性の増大
3. 血液粘性の上昇
4. 血管断面積の縮小

年度 21 回数 15 問題 37

健常成人で腎臓の糸球体でろ過される量はどの程度か。

1. 100~150 ml / 分
2. 300~400 ml / 分
3. 500~700 ml / 分
4. 1.2~1.3 l / 分

年度 21 回数 15 問題 38

排卵を直接誘発するのはどれか。

1. 卵胞刺激ホルモン
2. 黄体形成ホルモン
3. エストロジェン
4. プロジェステロン

年度 21 回数 15 問題 39

化学シナプス伝達の特徴として正しいのはどれか。

1. 両方向性伝達である。
2. シナプス遅延がある。
3. すべて興奮性シナプスである。
4. シナプスには酸素不足などは影響しない

年度 21 回数 15 問題 40

骨格筋の収縮について誤っているのはどれか。

1. エネルギー源として ATP を利用する。
2. アクチンフィラメントとミオシンフィラメントの結合が分離することで滑り込みが行われる。
3. 筋小胞体からのカルシウムイオン放出が重要な役割を果たす。
4. 筋細胞膜に生じた活動電位が細胞内に伝わることで誘発される。

年度 21 回数 15 問題 41

免疫グロブリンを産生するのはどれか。

1. B 細胞
2. T 細胞
3. 形質細胞
4. 肥満細胞

年度 21 回数 15 問題 42

皮膚反射に分類されないのはどれか。

1. 腹壁反射
2. 拳擧筋反射
3. 横隔膜反射
4. 開口反射

年度 21 回数 15 問題 43

味覚について誤っているのはどれか。

1. 受容器細胞は味蕾である。
2. 顔面神経は求心性線維の一つである。
3. 亜鉛やビタミン欠乏により味覚障害が生じる。
4. 味覚の順応は著明である。

年度 21 回数 15 問題 44

ベルーマジャンジディーの法則について正しいのはどれか。

1. 脳神経についての法則である。
2. 前根を通る神経線維は体性運動神経のみである。
3. 遠心性自律神経は側根を通る。
4. 後根を通る神経線維はすべて感覚性線維である。

年度 21 回数 16 問題 31

血液凝固に関与する血漿蛋白はどれか。

1. ヘパリン
2. フィブリノーゲン
3. アルブミン
4. プラスミン

年度 21 回数 16 問題 32

血漿アルブミンと関連が最も深いのはどれか。

1. 血液凝固
2. 免疫反応
3. 膠質浸透圧
4. 二酸化炭素の運搬

年度 21 回数 16 問題 33

間質液と血液との間でガス交換が行われるのはどれか。

1. 毛細血管
2. 大動脈
3. 大静脈
4. 細静脈

年度 21 回数 16 問題 34

ヘーリング・ブロイエル反射(肺迷走神経反射)で正しいのはどれか。

1. 咳を起こす反射
2. あくびを誘発する反射
3. 吸息を抑制する反射
4. 呼息を抑制する反射

年度 21 回数 16 問題 35

肝臓の働きでないのはどれか。

1. 血液凝固因子の産生
2. 解毒作用
3. 血液の貯蔵
4. ホルモンの分泌

年度 21 回数 16 問題 36

寒冷環境において体温の維持に関与するのはどれか

1. 皮膚血管の収縮
2. 不感蒸散の増加
3. メラトニン分泌の増加
4. 交感神経活動の低下

年度 21 回数 16 問題 37

健康成人の尿細管再吸収が最も 100%に近い物質はどれか。

1. アミノ酸
2. アンモニア
3. グルコース
4. カリウムイオン

年度 21 回数 16 問題 38

下垂体から分泌されないホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. サイロキシン
3. バソプレッシン
4. オキシトシン

年度 21 回数 16 問題 39

有髄神経で誤っている記述はどれか。

1. 全か無の法則に従う
2. ランビエの絞輪は絶縁性が高い
3. ミエリンがある
4. 無髄神経より興奮伝導が速い

年度 21 回数 16 問題 40

脳幹に中枢がないのはどれか。

1. 対光反射中枢
2. 排尿中枢
3. 呼吸中枢
4. 言語中枢

年度 21 回数 16 問題 41

交感神経活動に対する応答で誤っているのはどれか。

1. 縮瞳
2. 心拍数増加
3. 血管収縮
4. 腸運動抑制

年度 21 回数 16 問題 42

多シナプス反射でないのはどれか。

1. 屈曲反射
2. 引っかき反射
3. 伸張反射
4. 交叉性伸張反射

年度 21 回数 16 問題 43

皮膚の感覚点で最も密度の高いのはどれか。

1. 触圧点
2. 温点
3. 冷点
4. 痛点

年度 21 回数 16 問題 44

視床内側膝状体で中継される感覚はどれか。

1. 皮膚感覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 味覚

年度 22 回数 1 問題 31

体重 60 kg のヒトの細胞内液量で正しいのはどれか。

1. 36%
2. 24%
3. 9%
4. 3%

年度 22 回数 1 問題 32

血漿タンパクのうちもっとも量が多いのはどれか。

1. アルブミン
2. γ -グロブリン
3. フィブリノゲン
4. β -グロブリン

年度 22 回数 1 問題 33

次の説明が最も適切なものはどれか。

「心臓が大量の血液で充満して心筋が伸展されると心筋は、その伸展の度合いに応じて大きな収縮力を発生する」

1. ウェーバーの法則
2. スターリングの法則
3. ヘーリング-ブロイエル反射
4. ベル-マジヤンディの法則

年度 22 回数 1 問題 34

呼吸において吸息時に主に収縮する筋はどれか。

1. 内肋間筋
2. 横隔膜
3. 大胸筋
4. 腹直筋

年度 22 回数 1 問題 35

胃の主細胞から分泌される物質はどれか。

1. ペプシノゲン
2. 塩酸
3. 内因子
4. ムチン

年度 22 回数 1 問題 36

体温において熱産生ではないのはどれか。

1. 筋収縮
2. 食事誘発性産熱反応
3. カテコールアミン
4. 発汗

年度 22 回数 1 問題 37

腎臓においてほぼ 100%再吸収されるものはどれか。

1. グルコース
2. 尿素
3. 水素イオン
4. カリウムイオン

年度 22 回数 1 問題 38

血液中のカルシウム濃度の調節に関係するホルモンはどれか。

1. 成長ホルモン
2. インスリン
3. アルドステロン
4. パラソルモン

年度 22 回数 1 問題 39

神経において伝導の 3 原則で誤っているものはどれか。

1. 絶縁性伝導
2. 両方向性伝導
3. 跳躍伝導
4. 不減衰伝導

年度 22 回数 1 問題 40

自律神経支配において二重支配だが拮抗支配ではないのはどれか。

1. 心臓
2. 胃
3. 唾液腺
4. 直腸

年度 22 回数 1 問題 41

筋収縮時に必要な物質はどれか。

1. ナトリウムイオン
2. カリウムイオン
3. カルシウムイオン
4. マグネシウムイオン

年度 22 回数 1 問題 42

膝蓋腱反射のメカニズムが起こる受容器はどれか。

1. 腱受容器
2. ルフィニ終末
3. 筋紡錘
4. 痛覚受容器

年度 22 回数 1 問題 43

体性感覚において振動刺激に反応する受容器はどれか。

1. マイスネル小体
2. メルケル盤
3. パチニ小体
4. 自由神経終末

年度 22 回数 1 問題 44

視力において最も視力が良いところはどこか。

1. 視神経乳頭
2. 中心窩
3. 水晶体
4. 角膜